

平成18年2月21日

商品の正確計量の推進と自主的な計量管理の推進について

東京経済大学
副学長 宮下 正房
(第2WG 座長)

消費者は、公正な計量を実現するための最も重要なプレーヤーの一人。行政等からの適切な情報提供により消費者へ「正確な計量」に関する正しい理解が浸透し、消費者が量目制度へ積極的に参画することにより市場の監視機能を活かすことを実現したい。

事業者自らが計量管理を推進し適正な計量の実施を確保することは皆で高く評価すべきことであり、このような取組を促進していきたい。そこで、自主的により正確な計量管理を推進する事業所や、より正確に計量管理された製品については、マークを付すことができるようにして皆が評価できるようにしたい。消費者の方には、是非新しいマークの作成から参加して頂きマーク制度に対する親近感や連帯感を高めて頂きマーク制度の実効性を高めていきたい。